

ボランティアコーディネーター養成講座 基礎編

「地域共生社会」が提言されている中、高齢・障がい・児童分野の施設は、地域づくりを担う主体として、ボランティアの受入れや地域貢献などが期待されています。

本講座では、ボランティア活動をナビゲートするボランティアコーディネーターの役割、受入れのコツ、ノウハウ等を解説しつつ、ボランティアが創り出す可能性についても学びます。

この講座を通して、これからの地域社会を共に変えていくコーディネーターになりませんか？



日時：2018年1月20日（土）10時～16時 ※受付：9時30分

場所：広島市総合福祉センター5階大会議室（南区松原町5番1号）

内容「ボランティアコーディネーターの役割とスキル」

- ・ボランティアコーディネーターって何？（役割・必要性）
- ・ボランティア活動とは？
- ・施設におけるボランティアとは？
- ・ボランティアを受け入れるために必要なことって？
- ・施設の地域貢献活動の事例 など



講師：永井 美佳氏（社会福祉法人大阪ボランティア協会 理事・事務局長）

※講師プロフィールは裏面をご覧ください。

参加費：500円（資料代、教材費）

定員：30名（先着順）



ボランティアとつながるには

地域でボランティアするには

申込方法：裏面の申込用紙に必要事項を記入し、NPO法人ひゅーるぽんへFAXまたは郵送で送付するか、

E-mailにて必要事項を送信してください。申込締切後、受講確認票をFAXまたは郵送します。

申込締切：1月12日（金）必着 ※ただし、定員になり次第申込の受付を終了させていただきます。

お問合せ：NPO法人 コミュニティリーダーひゅーるぽん

〒731-0102 広島市安佐南区川内6-28-15

TEL:082-831-6888 FAX:082-831-6889 E-mail:info@hullpong.jp

主催：NPO法人コミュニティリーダーひゅーるぽん／広島市社会福祉協議会

参加申込書(平成29年度ボランティアコーディネーター養成講座【基礎編】)

コミュニティリーダーひゅーるぽん 宛 FAX (082) 831-6889

ふりがな 名前		所属	
コーディネーター活動歴 (ボランティア担当歴)	<input type="checkbox"/> 現在担当している (担当歴 年 月) <input type="checkbox"/> 今後担当する予定	所属団体の ボランティア 受入状況	<ul style="list-style-type: none"> 現在の受入状況 (ボランティアの活動内容) 今後の受入 (ボランティアに期待する活動内容)
ボランティア活動歴	<input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> 数回程度行ったことがある <input type="checkbox"/> 1年以上継続して活動した ことがある	(ボラン ティアの活動 内容)	<ul style="list-style-type: none"> 講師に聞きたいこと、悩み、疑問など
住所	〒 (所属先・自宅)	連絡先	TEL : FAX : E-mail :

※参加申込みの際にお寄せいただいた個人情報については事業運営の目的以外には使用しません。

※申込締切前であっても、定員になり次第、受付を終了します。

※申込みの受付後、1週間以内に受講案内をFAX、E-mail、郵送で送付します。ただし、1週間経過して受講案内が届かなかった場合は、お手数ですが、お問い合わせください。

【案内図】



【交通案内】

- JR山陽本線
「広島駅」下車 徒歩約3分
- 広島電鉄本線
「広島駅」電停下車 徒歩約3分

【講師プロフィール】

□大阪ボランティア協会 理事・事務局長 永井美佳 氏

大学2回生の夏、話のネタ的なノリで参加したボランティア活動にスッポリとはまり、その後、国際協力、環境、農、福祉などさまざまな活動に参加。そこで出会った市民活動家の生きざまに衝撃を受けて、この世界で生きることを決意。複数の市民活動団体の事務局勤務を経て、1995年9月より大阪ボランティア協会に入職。2016年4月より事務局長、2017年6月より現職。市民活動(ボランティア・NPO)のコーディネーション、NPOの組織化やコミュニティビジネス・社会起業の事業化、企業の社会貢献・CSR活動の推進を専門に取り組む。

この業界に足を踏み入れて27年。まだまだ深みにはまっていく状況。ボランティアコーディネーションカ1級検定合格。准ファンドレイザー。

【大阪ボランティア協会とは】

大阪ボランティア協会は、1965年、全国に先駆けて誕生した市民活動サポートセンターです。「ボランティア・NPO推進センター」「企業市民活動推進センター」の2つの部門を持ち、「市民活動を広め深めていきたい」と願うのべ126人のボランティアスタッフと13人の職員が、ボランティア(グループ)やNPO、企業の市民活動等を支援しています。